

# 環境会計

環境に配慮した事業活動を行うためのコストや効果を定量的に把握することで、着実な環境負荷の低減に取り組んでいます。

## 環境保全コスト

企業活動にともなう環境負荷を低減させる設備機器への投資、環境対応形商品の研究開発にともなう費用、環境情報の公開、地域活動への支援などの費用を環境保全コストとして集計・管理しています。

(単位:百万円)

コスト分類	事業エリア内コスト 上・下流コスト	管理活動コスト	研究開発コスト	その他コスト	合計
活動の内容	公害防止 地球環境保全 資源循環	EMSの整備・運用 環境情報の開示・広告 社員への教育	環境保全に資する製品 研究開発	土壌調査・浄化 環境保全活動の 地域支援など	
2007年度	140.3	54.5	19.8	1.4	216.0
2008年度	77.4	25.7	53.7	3.3	160.1
2009年度	78.6	10.4	58.6	7.9	155.5
2010年度	77.6	8.0	58.3	3.6	147.5

※2007年度は、省エネのために太陽光自家発電装置を設置しました。

## 環境保全効果

2010年度は2009年度と比較して大気汚染物質、水質汚濁負荷量は減少しましたが、猛暑の影響を受けてエアコンの使用量が増加したためエネルギー総使用量と二酸化炭素排出量が増加しました。2011年度は東日本大震災の影響もあり、一層の節電が必要となっている中で、全事業所で電力の削減に取り組んでいます。

項目	削減量※	
大気汚染物質	硫黄酸化物[SOx]排出量(t)	-3
	窒素酸化物[NOx]排出量(t)	-2
	ばいじん排出量(t)	-0.7
水質汚濁負荷量[COD](kg)	-25	
エネルギー総使用量[原油換算](kl)	203	
二酸化炭素[CO <sub>2</sub> ]排出量(ton-CO <sub>2</sub> )	326	

※削減量は「2010年度-2009年度」で計算